

学校法人 文化学園 川口文化幼稚園
令和3年度学校関係者評価 報告書

川口文化幼稚園 学校関係者評価委員会

令和3年7月

内容

1. 報告書骨子	2
2. 学校関係者評価委員	2
3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言	3
3-1 保育の計画性	3
3-2 保育の在り方、幼児への対応	3
3-3 保育者としての資質や能力・良識・適正	4
3-4 保護者への対応	4
3-5 地域の自然や、社会との関わり	4
3-6 研修と研究	5
4. 学校関係者評価を受けて	5

1. 報告書骨子

学校関係者評価委員会（以下、等委員会）は、「川口文化幼稚園 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。

当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している。委員構成は下記「2. 学校関係者評価委員」に記載の通りである。

本報告書は、令和 3 年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ、作成したものである。

本報告書の作成にあたり、当委員会の委員の方々にはお忙しいところご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

2. 学校関係者評価委員

評価実施者：委員 4 名（企業関係者 2 名、保護者・地域住民 1 名、元教育従事者 1 名）

学校関係者評価 評価方法について

令和 3 年度の学校関係者評価は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による方法で実施した。

配布資料：川口文化幼稚園 学校評価実施要項

項目別の自己評価結果表

学校関係者評価 評価記入シート

本園の教育目標

1. 幼児の心身の調和を図り、健全な心身の基礎を養う。
2. 基本的な生活習慣と正しい社会態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳性の芽生えを培う。
3. 自然及び社会の事象について興味や関心をもたせ、思考力の芽生えをつちかう。
4. 人の話をきく正しい態度を養うとともに、ことばの正しい使い方を身につける。
5. 幼児に自主的、自発的な活動を促し、自立の精神を養う。
6. 幼児の心身の発達の実情をよく理解し、その個人差に応じて適切な指導を行う。
7. 家庭との連絡を密にし、家庭における教育と相まって教育の効果をあげる。

3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言

令和 3 年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

3-1 保育の計画性

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① 幼稚園教育要領に基づき、園児に対する指導が行われている様子がうかがえます。また、園児の環境に配慮し、適宜指導されていることもうかがえます。その上で、園の教育方針をより明確にするためにも、園長を筆頭により一層のコミュニケーション、フィードバックによって更に良い段階へ進むと思われます。
- ② 同じような項目に「2」と自己点検した人が多かったので、職員同士のコミュニケーションを多くして、同じ気持ちで指導ができるようにしていけたらと思う。
- ③ 園の教育理念、教育方針の理解、共感がなされている点は良いと思うが、一方でその方針、園長の考えについて園全体での話し合いや協力がやや足りないのではないかとの印象を持った。
- ④ 園の教育理念、教育方針の理解、教育課程の編成における自己評価点が気になるが、概ね適切と思われる。新体制の中、大変努力されていることを感じ取れる。

3-2 保育の在り方、幼児への対応

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① 総じて園児に対する観察、配慮は行われており 1 人 1 人の気持ちにも細かく対応している様子がうかがわれます。
- ② 朝の登園時の健康観察から、危険物の予測といった神経を使う部分だけでなく、一人ひとりの幼児の個性を認め、対応している先生方の仕事は本当に多岐にわたると思います。幼児への無視、体罰がないのは当たり前には思えますが、ニュースなどを見ると痛ましい事故もあり、その点、文化幼稚園は安心できる環境であると思う。
- ③ 教職員それぞれが、子ども達ひとりひとりに興味、関心を持ち、適切な対応が出来ている。

3-3 保育者としての資質や能力・良識・適正

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① 1人1人のあり方や対応、そして集団としての協力や連携も取られており、園児に責任を持った対応をしていることがうかがえます。
- ② 先生方の専門家としての能力、マナー、義務については申し分ないと思います。しかし、分掌、体制の部分を見ると、運営組織として園を見た際に、効率性、職務内容の明確性、園の運営という点で職員内での疑問が少しあるのではないかと思います。
- ③ 総務課と専任教員とで偏りが見られるが、総合的にはおおむね適切と評価できる。

3-4 保護者への対応

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① クレームへの対応や、守秘義務の遵守についてはしっかり対応できていると思われます。ただし情報発信や、教職員全体での保護者からの要望に対しては、教職員全体で意見交換し、同じ意見を持って対応することがより効果的に思われます。
- ② 保護者より、先生方が「誠実に対応してくれる」、「熱心で丁寧」、「子どもの事でよく連絡をしてくれている」との声を耳にしている。
- ③ クラスだよりは簡潔なだけでなく、先生一人ひとりの個性が表れており、お便りを読むのが楽しみな保護者も多いのではないかと思います。ただ、ここでも問題となるのは、保護者と何かあった時に、先生方と園がもっと話し合える環境があれば良いのではないかと思います。
- ④ 保護者が安心して子ども達を預けられるような対応、整備がされていると評価できる。

3-5 地域の自然や、社会との関わり

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① 地域の自然や機関について、地元出身の先生を中心に、より利用しやすい形や、教育的意味合いを共有することで、より効果的に利用できると思います。
- ② ここ数年はコロナの影響もあり、地域とのかかわりが以前に比べ難しくなっているのではないかと思います。その中でも地域開放や子育て支援に力を入れているのは素晴らしい取り組みだと思います。
- ③ 地域との関わり、連携が十分はかれていると評価できる。総務課も地域と関わる立場であることは同じなので、より一層の強化に期待する。

3-6 研修と研究

【学校関係者評価委員からの提言】

- ① ほぼ、出来ていると思われます。ただし、教師として各々のより一段の専門性の学び等については研鑽の余地があるかと思われます。全体での研修機会を通して個々の学びの為のバックアップ支援も、見聞の余地があるかと思われます。
- ② 日々一生懸命頑張っている先生方に、専門性に関する研修・研究の機会をぜひ多くとってあげて下さい。園内研修でも良いかと思えます。(新人研修 etc.)
- ③ 預かり保育やサポートが必要な子どもへの支援についてはとても充実していると思えます。研修、研究への意欲、態度については、やる気はあっても時間や日々の業務の兼ね合いで難しいのではないかと思います。その辺りは園全体での話し合いが必要なのではないかと感じた。
- ④ 一部、教職員同士の協力、連携が不足している部分も見受けられるが、概ね適切と評価できる。

4. 学校関係者評価を受けて

校内での教職員により実施した自己評価結果をもとに、外部委員の方々には学校運営ならびに教育活動について具体的なお意見を頂戴し、ご尽力いただき誠に感謝申し上げます。幅広い視野での提言を頂戴したことで、内部からの視点だけでは見えていなかった点にも気づきを得ることができ、改めて外部評価の重要性を感じました。今回いただいた委員の方々からの提言で早急に取り組むべき課題を精査し、職員会議等で学内に共有し、次年度の改善目標とする予定です。特に、園児募集や財政基盤の安定は急務であるため、より広い視野で具体的な対応策を検討していきます。

今後とも自己評価ならびに学校関係者評価を継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存です。